

～民間企業とのタイアップ事業～

飲食店と高等学校との連携によるオホーツク食材・食品の販路拡大及び「食」を通じた人材育成

オホーツク食材を活用した商品・メニュー開発及び「食」を通じた人材育成

▼北海道では、地域の特性を活かした道産食品の付加価値向上による「食」ブランドの競争力強化を図るとともに、国内・海外への販路拡大に積極的に取り組んでいます。

▼北海道では、「どさんこ食育推進プラン」を策定し、北海道らしい食生活を実現する食育を推進するため、地域の農林水産業や食品産業を理解する取り組みを行っています。

▼特に、オホーツク地域は豊富な農林水産資源がありながら、原料供給型の産業構造であることから、今まで以上に付加価値を付けた商品開発が求められるとともに、地域で生活する人が「食」に関する知識等を習得し、豊かで健全な食生活を実践できる人材を育成することが不可欠です。

事業概要

北海道オホーツク総合振興局とオホーツク美幌食品(株)(本社:美幌町)が運営している飲食店が連携し、オホーツク食材を主体とした道産食材にこだわったメニューの提供や、本社のデポ機能を活用した首都圏での道産食材の販路拡大に向けた取組を実施するほか、原料供給地で高次加工することにより、付加価値を高めた商品を首都圏を中心に販売する。

また、北海道美幌農業高等学校との連携により、地域の食材を活用した付加価値の高い商品・メニュー開発を行い、実店舗による販売やマーケティング調査などを実施し、「食」を通じた人材育成を促進する。

